

## 海外留学プログラム



2025年度後期には、5つの海外留学プログラムを実施した。①南イリノイ大学での英語・アメリカ文化研修（5週間、7名参加）、②トリニティウエスタン大学での英語・カナダ文化研修（5週間、5名参加）、③セントポール大学フィリピンでの英語・フィリピン文化研修（2週間、8名参加）、④江原（カンオン）大学校での韓国語・韓国文化研修（6日間、8名参加）、⑤デラサールアラネタ大学（フィリピン）でのオンライン英語プログラム（3週間、5名参加）。今回、初めて韓国でのプログラムを実施したが、実践的な韓国語の授業に加え、現地の学生と一緒に韓国料理を作ったりK-POPダンスを習ったりして、充実した内容を提供することができました。

## 国際展開推進シンポジウムの開催

2026年3月10日（火）、第20回徳島大学国際展開推進シンポジウム「母国で振り返る私の徳島大学留学生時代」を阿波観光ホテルにおいて開催しました。

今回は、中国、モンゴル、メキシコ、ベトナム出身の徳島大学卒業・修了留学生4人を講演者として招き、徳島大学での留学生生活を振り返るとともに日本または各出身国における現在の取り組みについて講演をしていただきました。参加者は学内外で合計51名でした。



発表者との記念撮影

## 日本留学フェア

2026年1月24日（土）と25日（日）にマレーシア・クアラルンプールで開催された「2025年度日本留学フェア」に参加し、徳島大学の紹介と説明を行いました。本学のブースには、2日間で76名が訪れ、入学試験、奨学金・授業料免除、大学寮、生活環境などについて情報を提供しました。



クアラルンプール会場

2025年度の留学生地域交流推進事業では、計4回のイベントを実施しました。第1回（11月8日、38名参加）は「徳島の観光・文化を知ろう」と題し、藍染め・四国遍路・阿波踊りの体験を通じて徳島文化への理解を深めました。第2回（12月13日、63名参加）は祖谷スタディツアーとして、大歩危峡観光遊覧船への乗船やかずら橋の見学を行い、観光資源やインバウンド対応についても学びました。第3回（12月25日、8名参加）は県内3企業を訪問し、大塚化学・大塚製薬・四国化工機の各工場見学を通じて徳島の産業と企業活動への理解を深めました。第4回（1月16日、15名参加）は徳島市立高等学校を訪問し、授業・清掃・部活動を体験することで、留学生が日本の高校生活を実体験として学びました。全イベントを通じて、留学生の徳島・日本への印象が向上し、日本人学生との交流促進においても大きな成果を得ました。

## 徳島県留学生地域交流推進事業



祖谷スタディツアー



書道セッション

## GRIP 第10期

2025年度後期、徳島大学グローバルパーソン集中プログラム（GRIP）第10期に、理工学部・医学部・生物資源産業学部・総合科学部から17名の日本人学生が参加しました。

プログラムは2025年10月から2026年3月にかけて実施されました。フロリダアトランティック大学（アメリカ）の学生とのオンライン交流で英語力を磨いたほか、マレーシアマラッカ技術大学の先生による英語セッションを全6回受講しました。また、International Dayではナシレマなどマレーシアの料理を味わいながら現地の文化を学び、多文化交流会では多くの留学生と交流を深めました。学内での文化紹介ポスタープレゼンテーションを終えた後、アメリカへ3名、カナダへ4名、フィリピンへ5名が現地留学をし、5名はオンラインプログラム（フィリピン）に参加しました。今後も国際交流活動に積極的に関わっていくことを期待しています。



英語でのプレゼンテーション



## インターナショナルオフィス 最近の主な活動

### 日本語教育

#### 日本語研修コース

2026年3月6日、日本語研修コースの修了式が行われました。日本語研修コースは、日本語学習経験の少ない留学生が、ひらがなの学習からスタートし、約半年間日本語を集中的に学ぶコースです。2025年度後期にはガーナ、バングラデシュ、パキスタン、マラウィ、マレーシア、モンゴルの留学生8名がこのコースに参加し、毎日3時間の日本語学習のほか、地域の小学生や高校生との交流や文化体験も行いました。修了式では、副学長や指導教員の前で、自身の専門分野や将来の夢についてのスピーチを行い、半年間にわたる日本語学習の成果を披露しました。



#### 総合日本語

総合日本語は、徳島大学で学ぶ留学生、研究者およびその家族を対象とした週2回の日本語クラスです。今学期は、常三島・蔵本の両キャンパスで総勢27名の留学生とその家族が日本語を学びました。受講生たちは、研究や生活との両立に励みながら、日本語学習に取り組みました。

### 留学生のための就職支援

2025年度後期も、留学生の日本での就職を支援するため、セッションを4回実施し、合計40名の学生が参加しました。第2回（9月30日、19名参加）は、JETRO徳島との共催で「卒業生の就活・就職体験を聞こう」を開催しました。本学にゆかりのある卒業生が自身の就活・就職体験を共有したほか、県内企業17社の人事担当者と直接交流できる貴重な機会となりました。第3回（11月21日、35名参加）は「ジョブフェア&交流会」として、大塚製菓・ユニ・チャームなど県内外の9社が参加し、各社の事業紹介と留学生との交流会を行いました。第4回（12月）は「就労ビザについて学ぼう」と題したオンラインセミナーを開催し、日本での就職に必要な在留資格について理解を深めました。さらに2月13日には、三井E&S株式会社（岡山）とユニ・チャーム株式会社（香川）を訪問する県外企業訪問ツアーを実施し、現場の雰囲気を感じながら就職活動への意欲を高めました。



### 国際交流活動・イベント

#### English Free Talk Sessions @ELCS

English Free Talk Sessions@ELCSは、日本人学生と外国人留学生が英語や日本語で自由に会話やゲームを楽しみながら、語学力の向上と多文化理解の深化を図ることを目的として実施しています。2025年度は前期67日・延べ663名、後期50日・延べ524名が利用しました。前年度の合計903名に対し、2025年度は1,187名と約31%増加しています。今後も継続して活動を続けていきますので、より多くの学生の参加を期待しています。

#### International Day:マレーシアの食を通して文化・言語を学ぼう

2025年11月11日に開催した「マレーシアの食を通して台湾文化・言語を学ぼう」では、台湾料理を実際に食べながら参加者同士で感想を共有しました。また、台湾からの留学生が準備した台湾料理・文化に関するクイズを通して、台湾の文化・歴史・言語について学びました。これらの活動を通して、参加者は同国の文化・言語について理解を深めました。

#### 多文化体験交流会

2025年10月31日（金）に多文化体験交流会を開催しました。徳島地域の外国人留学生や日本人学生、地域の人々が交流を深めることを目的に、平成14年度から実施しています。当日は、外国人留学生、外国人研究者とその家族、日本人学生、地域の国際交流団体（KIFA,JSS）の関係者など約100名が参加しました。留学生が自国の国歌や歌を披露し、日本文化を体験したり、学生連の阿波踊りに参加したりして、交流を楽しみました。



#### 日本文化・企業研修

2026年1月5日（月）6日（火）に、日本文化・企業見学旅行を実施しました。本見学旅行で、留学生が日本の文化や歴史（伏見稲荷大社、東寺、京都御所、金閣寺）や技術（関西量子科学研究所、京都鉄道博物館、おたへ本館）への見聞を広め、留学生同士との交流を深めることができました。



#### Spring Program

2026年3月13日、協定校の学生を対象としたオンラインのスプリングプログラムを開催しました。モンゴルやブルガリアなど海外の学生が参加し、徳島・徳島大学の紹介や阿波踊り・藍染めなどの文化紹介を行いました。後半は徳島大学の日本人学生7名が2グループに分かれ、海外の参加者と活発に交流しました。

